

**【受賞】日本運動疫学会第 23 回学術総会にて優秀論文賞、他 2 賞を受賞しました。**

2019/8/9

2019 年 6 月 22 日から 23 日にかけて開催された、日本運動疫学会第 23 回学術総会にて北湯口純主任研究員が執筆した論文「地域在住高齢者の身体活動および座位行動と転倒発生との関連:1 年間の前向きコホート研究」が優秀論文賞を受賞しました。この論文では、無作為に選ばれた雲南省の 60～79 歳の方を対象に 2009 年～2010 年 1 年間にわたって調査した結果、長時間の座位行動が高い転倒リスクと関連したことを報告しました。中山間地域在住高齢者において、転倒の予測因子として座位行動を評価することの重要性が考えられました。

また、北湯口純主任研究員が共同研究者として参画した研究である、三重大大学教育学部重松良祐先生の「身体活動を推進するポピュレーションアプローチの評価方法—改良型 RE-AIM モデル:PAIREM—」も優秀論文賞を受賞しました。

その他、雲南省を対象として実施された研究として、東京医科大学公衆衛生学分野、福島教照先生の「性・学年・就学前施設の種類の別みた幼児期運動指針の充足者割合に関する記述疫学的検討」、が優秀演題賞を受賞しました。この研究は研究所うんなんも共同研究として関わりました。

今後も雲南省から運動普及促進、健康づくりの情報発信に努めていきます。



身体教育医学研究所うんなん

TEL: 0854-49-9050

<https://www.shintai-unnan.com/>